

**意見**

過去のことをどうこういうのは会の目的から外れているのでは。健康など何らかの被害の実例があれば問題だが、規制値以内であり、一連の不祥事同様、二度と起こさないといい方向でいいのでは。

**意見**

事実関係は明白、事実なら発電所に係る本質的な問題。地域住民に原発災害の被害が出ないようこういふ会をやっているわけで、被害が出ないからというのは非常に危険な考え方。このような問題の究明こそこの地域の会の一番大事な仕事。

**意見**

もう少し事実・具体性のあるものに基づかないと論議にならない。取扱いを運営委員会で検討してもら



つては。

※運営委員会で対応協議することとなりました。

**■保安院に対する意見・要望について**

第10回定例会において保安院の出席を求め、意見交換を行うに当たり、保安院に対する意見・要望を集約しました。意見・要望は運営委員会でとりまとめ、代表質問することとしました。

**第10回定例会を開催しました**

日時 平成16年2月13日(金) 18:30~21:20  
 場所 柏崎原子力広報センター・2階研修室  
 出席者 18名(欠席6名)  
 説明者 原子力安全・保安院 山下首席統括安全審査官、西山企画調整課長、保安検査官事務所・木野所長  
 オブザーバー 新潟県、柏崎市、刈羽村、西山町、地域担当官事務所、東京電力(株)  
 内容 ・前回定例会以後の動き  
 ・原子力の安全規制について

**■前回定例会以後の動き**

前回定例会以後の動きについて、新潟県、柏崎市、東京電力から説明がありました。(P12の発電所の動きを参照)  
 なお、東京電力から2月6日に公表された管理区域からの物品搬出問題の事実関係の調査結果について次のような説明がありました。

**▽管理区域からの物品搬出に関する調査結果について**

- 一部の取扱いに不的確な事例が見受けられた。
  - ・指摘のフィルター木枠は汚染のないことを確認の上、再利用物品として発電所外に搬出されたが、東電の指導が不明確で焼却された事例があった。
  - ・同様に再利用・再利用物品として搬出された物品の一部が発電所内外の産廃処分場での処分や焼却処分という不適切な取扱いがあった。
- 搬出測定に不正等は無かった。
- ・汚染された廃棄物が管理区域外に持ち出されたことはない。
- 今後は協力企業が迷わないような明確な指示を行う。